

学習課題(中学校3年生)



【保健体育(保健分野)】

〈学習内容〉

「医薬品の有効利用」個人の健康を守る社会の取組～健康な生活と疾病の予防～

- ・医療機関への受診が重要であることを知り、医薬品を使用することを理解しましょう。
- ・医薬品の正しい使用法について判断し、医薬品の正しい使い方について選択してみましょう。

〈取り組み方〉ワークシートを使って、以下についてまとめましょう。

- (1) 病気や怪我の治療や予防のため、病院へ行かずに薬局で薬を購入する時は、どのような場合か考えてみましょう。
 - ・薬局を利用する時を思い出して書いてみましょう。
- (2) 医薬品の有効利用に関する知識について教科書 P120～121、125 を参考にワークシートに整理しましょう。
 - ・一般用医薬品（薬局などで直接購入できるもの）の使用で気をつけることを整理しましょう。
- (3) 医薬品の使い方についての事例を検証し、気になる箇所に赤で下線を引きましょう。

〈学習のヒント〉

- 事例検証では、示されている情報だけでは足りないことを質問してみましょう。
- 主作用・副作用、使用法について理解してみましょう。

『医薬品の有効利用』

_____年 _____組 _____番 名前_____

(1) 病気や怪我の治療や予防のため、病院へ行かずに薬局で薬を購入する時は、どのような場合か考えてみましょう。

私は…の時、薬局を利用します。

(2) 医薬品の有効利用に関する知識について教科書P120～121、125を参考にワークシートに整理しましょう。

主作用とは…

副作用とは…

一般用医薬品（薬局などで直接購入できるもの）の使い方で気をつけることを整理しましょう。

(3) 医薬品の使い方についての事例を検証し、気になる箇所に赤で下線を引きましょう。

①主体の状況で誤った情報や必要な情報

②薬の情報を読み、主体の誤った情報の根拠

③「必要な情報は何か」、「なぜその質問をしたのか」の根拠

《事例1》

《使用した医薬品1》

風邪をひいて鼻水が出たので、昼食後、薬局で購入した。忙しくて、昼ご飯が食べられず薬も飲めなかった。そのため、夜ご飯を食べ終えた後、昼に飲めなかった分と夜の分の薬（計6錠）を飲むことにした。	<p style="text-align: center;">使用上の注意</p> ○効能：頭痛、鼻水、せきなどの風邪の諸症状に ○用法・容量：15歳以上3錠 15歳未満服用しないでください。 1日3回、なるべく空腹時をさけて、水またはぬるま湯で服用してください。 服用間隔は4時間以上おいてください。 ○してはいけないこと：本剤を使用しているときは、他の解熱鎮痛剤、風邪薬、乗物酔い薬を使用しないで下さい。服用前後は飲酒しないで下さい。
誤った情報や必要な情報と根拠 ① ② ③	

《事例2》

《使用した医薬品2》

父親は少しだけ胃痛がするので1/2包薬を飲んだ。その後、中3の娘が、夕食前に胃の痛みを訴えてきた。母親は、父親が飲み残した薬を娘に飲ませようとした。娘は苦い薬を嫌がったので、オレンジジュースで薬を飲んだ。	<p style="text-align: center;">使用上の注意</p> ○効能：胃痛・胃炎・胃もたれ、食欲不振の症状の緩和 ○用法・容量：15歳以上1包 5～14歳1/2包 5歳未満服用しないでください。 1日3回、食前又は食間（食事の後2～3時間）に水またはぬるま湯で服用してください。 1包を分割した残りを服用する場合には口を折り返して保管し、2日以内に服用して下さい。 ○してはいけないこと：服用後、発疹や痒みがあれば使用しないで下さい。1か月以上服用し続けしないで下さい。
誤った情報や必要な情報と根拠 ① ② ③	